平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	高齢者福祉論 (Study of Elderly Welfare)			授業コード	E041601
担当教員名	奥田　憲昭			科目ナンバリングコード	E20905
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分		単位数	2		
履修上の注意または履修条件					
受講心得	社会福祉士試験に合格する力をつけることを目的とする。配布されたプリントを反復して復習すること。				
教科書	なし　プリント配布				
参考文献及び指定図書	高齢者に対する支援と介護保険制度(中央法規)				
関連科目	社会学、介護概論				

授業の目的	社会福祉士国家試験に合格できる力を付ける。
授業の概要	高齢者の特性、少子高齢社会と高齢者、高齢者保健福祉の発展、高齢者支援の関係法規、高齢者を支援する組織と役割について講義する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : 高齢社会一人口構造の変容 1. 少子高齢社会の到来　少子高齢化　高齢化の国際比較　わが国の高齢化の状況 2. 少子高齢化の要因	プリントを復習すること
第 2 週 : 高齢社会一人口構造の変容 3. 人口高齢化の地域間格差　都市化の推移　都道府県別の高齢化率　市町村別の高齢化率　大分県の市町村別高齢化率	プリントを復習すること
第 3 週 : 高齢者の身体的・精神的変化. 1. 高齢者へのイメージ　2. 加齢に伴う身体的機能の変化　老化の指標　3. 加齢に伴う基礎的運動能力の変化、4. 精神機能の老化、	プリントを復習すること
第 4 週 : 老年期の病気 1. 高齢者の疾病状況　2. 認知症高齢者の実態　3. 認知症の諸段階	プリントを復習すること
第 5 週 : 高齢者の家族生活 1. 高齢者の家族構成の推移—核家族化　　2. 家族周期の変化と高齢者	プリントを復習すること
第 6 週 : 高齢者の経済生活 1. 高齢者の労働力人口　2. 高齢者と所得　3. 高齢者と年金　4. 高齢者と生活保護	プリントを復習すること
第 7 週 : 高齢者保健福祉の発展 1. 戦後から昭和30年代の高齢者保健福祉、3. 昭和40～60年代の高齢者保健福祉、4. 平成の高齢者保健福祉	プリントを復習すること

第 8 週 ： 介護保険制度の基本的枠組み 1. 介護保険制度の目的　2. 介護保険制度の理念	プリントを復習すること
第 9 週 ： 介護保険制度の基本的枠組み 3. 介護保険制度の全体像　　4. 保険者と被保険者（1. 保険者　2. 被保険者）	プリントを復習すること
第10週： 介護保険制度の基本的枠組み 5. 要介護認定のプロセス（1. 介護保険給付の対象者　2. 要介護認定のプロセス　介護認定審査会）	プリントを復習すること
第11週： 介護保険制度の基本的枠組み 指定サービス事業提供者	プリントを復習すること
第12週： 介護保険制度の基本的枠組み 国民健康保険団体連合会　行政機関の役割	プリントを復習すること
第13週： 介護保険制度の基本的枠組み 1. 地域包括支援センターの組織と役割	プリントを復習すること
第14週： 高齢者を支援する福祉専門職 1. 社会福祉士　介護支援専門員　介護福祉士	プリントを復習すること
第15週： 試験について 1. 試験について説明　　2. 問題集の配布と説明	プリントを復習すること
第16週： 期末試験	

授業の運営方法	**(1)授業の形式**	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	講義をよく聞き、復習をする。
【知識・理解】	講義で取り上げた内容を理解する。
【技能・表現・コミュニケーション】	プリントにより授業で取り上げた内容をよく理解する。
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**試験による**			
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**100点**			
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	